

桂川町社会福祉協議会だより

2025

No.190

令和7年11月18日(年4回発行)

〈編集・発行〉社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・FAX65-4555

メール keisen-fukushi@keisen-shakyo.or.jp ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

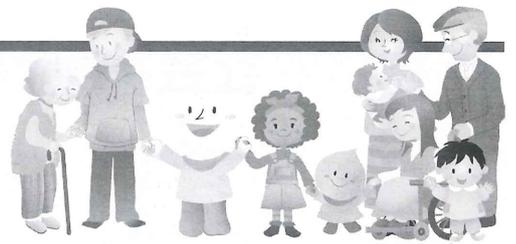
一人ひとりの違いが
景色を豊かにしてくれる



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888

第41回 福祉のつどいを開催しました!



9月28日、まだまだ気温も高いのに加え、参加者のパワーも相まって会場は熱気に満ちていました。

当日は多くの方が参加し、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、さまざまな交流ができた1日になりました。

今年度もたくさんの施設や団体から飲食や体験や展示コーナーを出していただき、また個人や団体が歌やダンスを披露してくれました。福祉のつどいなら

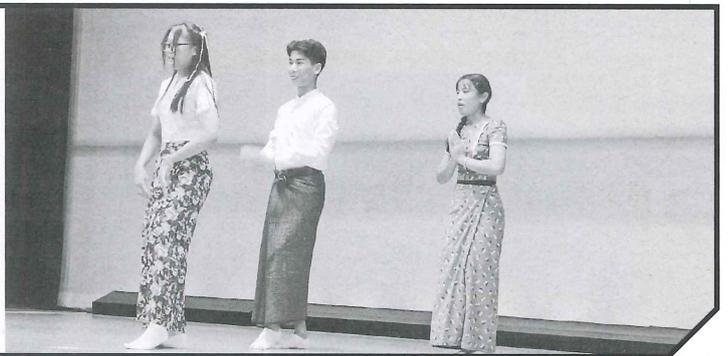
はの手話・点字・手作り体験のふれあい体験コーナーも楽しげな笑い声で溢れていました。さらに出店や体験だけではなく準備、片づけ、ゴミの分別などに協力してくれた団体もあり、多くの人に支えてもらい無事に終了することができました。

地域福祉を推進するなかで、年齢や性別、障がいの有無、国籍にかかわらず、誰もが集えて、協力し、楽しめる場は、必要であると再認識できました。参加してくれた人だけでなく出店してくれた皆様も充実した時間を共有できたのではないのでしょうか。



ステージ

当日のステージは、ミャンマーのダンス、歌、ギター弾き語りなど盛りだくさんの内容で、観客席がにぎわいました。学童保育所の可愛く、カッコいいダンスで笑顔になり、ギターと歌声に聞き惚れる素敵な時間となりました。



バザー

焼きそば、フライドポテト、かき氷、とれたて野菜、観葉植物などの販売が行われました。1枚100円のチケットを複数枚握りしめ、たくさん買い物をしている方、もりもり食べている子どもなど、あっという間に売り切れてしまったお店もあり、大盛況でした。



体験コーナー

手話の会(手話)、手作りの会(手芸)、カトレア会(点訳)が体験コーナーを出店してくれました。子どもたちを中心に多くの方が体験してくれました。今回の体験を通して、社会福祉に興味を持ってもらえればと思います。



ありがとう

赤い羽根共同募金

地域の福祉、
みんなで参加

赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

皆様から寄せられた赤い羽根共同募金は、以下のような社会福祉活動に使われます。
あなたの思いやりがみんなの幸せの応援となっています。

高齢者福祉活動

448,000円

- 給食サービス事業
- 風のたより配布事業
- メッセージカードの配布などの活動のために

給食サービス事業



障がい児・者福祉活動

238,000円

- ふれあいのつどい事業
- 聴覚障がい者支援事業
- 視覚障がい者支援事業などの活動のために

ふれあいのつどい



福祉のつどい



福祉育成・援助活動

1,516,600円

- 福祉のつどい事業
- ボランティア団体事業
- うきうきレクリエーション講座などの活動のために

福祉協力校指定事業
(手話体験)



児童・青少年
福祉活動

396,000円

- 福祉協力校指定事業
- 夏休み子ども受入事業
- 布のおもちゃ製作事業
- 子育ていろいろ体験講座などの活動のために

令和7年度
桂川町配分額
2,648,600円

今年度はこのような
事業に使用します

在宅介護者の会(かるた会)



歳末たすけあい

50,000円

- 在宅介護者の会支援費

一世帯当り
700円以上の
募金をお願いします

令和6年度の桂川町募金実績総額は

2,932,138円です

ご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございます

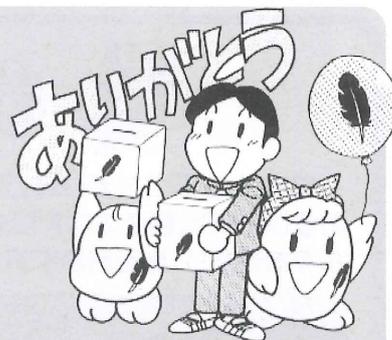


10月1日から12月31日の運動期間を周知するために、トライアル桂川店において赤い羽根共同募金の啓発及び募金活動を行いました。

トライアル桂川店舗前をお借りしての募金活動では、たすけあい桂川、手話の会の方を含め、7名で募金協力を呼びかけました。当日は買い物に来られた多くの方が募金へご協力いただきました。なかには赤い羽根共同募金のために、貯めてくれていた方もいらっしゃいました。

募金の呼びかけ、募金へご協力いただいた皆さんのおかげで、10月に実施した募金活動で8,371円の募金が集まりました。

赤い羽根共同募金の活動は12月末まで続きます。このお金は私たちが住む桂川町の社会福祉の向上のために必要な事業に使用いたします。





夏休み子ども受け入れ事業



桂川町ボランティア連絡協議会に所属する団体が、夏休み子ども受け入れ事業を行いました。日常的には手話や俳句などを学ぶ機会は少ないと思います。当事業で新たな体験や人とのふれあいを通して、子どもも大人も元気になってもらいます。

今年度もボランティア団体「手作りの会」が講師としてラップの芯でつくる鉄砲を作成しました。桂川東学童で実施し、最初はボランティアさんも児童もお互い緊張していましたが、作成が進むにつれて緊張がほぐれていき、最後は自分たちで作った鉄砲でのを狙って一緒に遊ぶことができました。

参加してくれた児童のみんなには、一緒に楽しく遊

ぶことで、喜んでくれる人がいることを感じてくれていれば嬉しいです。



障害者関係連絡会 研修会



桂川町障害者関係連絡会が主催する研修会が行われました。「手話言語条例について～手話で想いが伝わるまちへ～」と題して嘉飯手話の会連絡協議会会長の白木英生氏をお迎えして講演してもらいました。

現在、桂川町でも手話言語条例の制定に向けた取り組みが行われており、条例が制定された後の施策について学びました。手話は聴こえない方々にとっての大切な言語であり、その言語を使ってコミュニ

ケーションがとれる社会を目指し、社会福祉協議会も当事者団体等と協働してまいります。



福祉部活動の紹介①

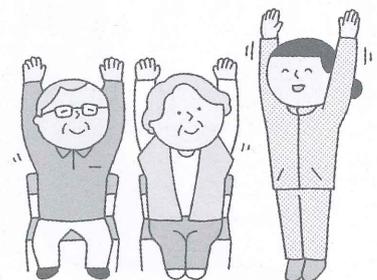


先日、かつらカフェ（桂ヶ丘区）で介護予防教室を開催しました。講師には介護に精通している犬丸さんをお迎えし、体を動かす体操や、日常生活で取り



入れやすい健康づくりの工夫を教えてくださいました。当日は12名の方が参加され、和やかな雰囲気の中で体をほぐしながら楽しい時間を過ごしました。

「無理なく続けられそう」「また参加したい」との声も寄せられました。今後も皆さんの健康づくりを応援する教室を企画してまいります。





福祉部活動の紹介②



土師四区では「大人用紙おむつ勉強会」を開催しました。テーマは「紙おむつの知っているようで知らないこと」。

実際に見て、触れて、学ぶことを大切にしました。参加者土師四17名、弥栄11名が熱心に耳を傾けました。

講師には大王製紙の川上幸奈さんをお迎えし、商品選びのポイントや使用方法をわかりやすくご紹介いただきました。

「実際に触れて理解が深まった」との声も多く、学

びのあるひとときとなりました。

弥栄区でも同様の講座を開催しました。皆さん講師の説明に何度もうなづき、新たな気付きになりました。



福祉部活動の紹介③



平山二区では「介護保険のお話」をテーマにした学習会を行いました。桂川町の現状や介護保険制度



の仕組みについて、桂川町保健環境課の坂口係長から分かりやすく説明があり、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

また、健康でいることの大切さを実感できるよう、話を聞くだけでなく体を動かす時間も取り入れ、楽しく学ぶことができました。「勉強になった」「体を動かして元気になった」との声も寄せられました。



福祉部活動の紹介④



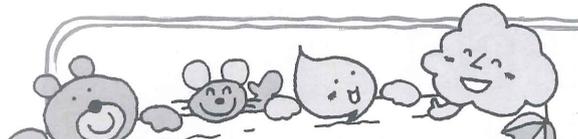
土師六区では「交通安全教室」を開催しました。今回は警察から講師をお迎えし、交通ルールや事故防止のための心得を学びました。教室では座学だけで



なく屋外に出て、実際に車の周囲を確認し、死角の危険性について体験を交えながら理解を深めました。参加者からは「改めて注意の大切さを再確認できた」との声があり、日常の安全意識を高める貴重な時間となりました。

今後も安心・安全な暮らしを支える活動を続けてまいります。

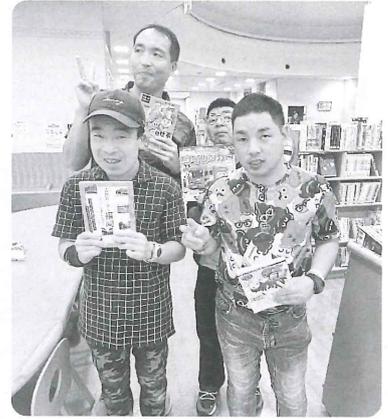
このコーナーでは、町内の施設や、ボランティア団体などを紹介していきます



社会福祉法人 嘉穂の里 グループホーム
みんなの家・みんなの家パロ・C-village
 桂川町大字土師1091-31
 TEL: 0948-20-2200
 E-mail/info@kahonosato.jp

社会福祉法人嘉穂の里が運営する「グループホームみんなの家」では、仲間と一緒に暮らす事で、自分らしく生活する力を身につけ、地域で安心して暮らせるようになることを目指しています。

みんなの家の敷地内にあるサテライト型グループホーム「C-VILLAGE（シービレッジ）」には、一人



Support Staff Chief
 金澤 良太

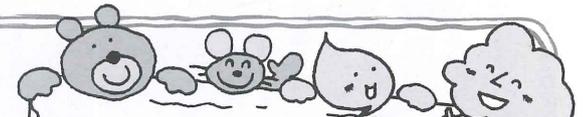
こうした地域とのつながりの中で、さまざまな体験や、やりがいを感じてもらえるよう取り組んでいます。これからも、利用者さん一人ひとりの思いや希望を大切にしながら、健康で安心して楽しく過ごせる毎日をサポートしていきます。

暮らしに近い環境で過ごせるワンルームタイプの「コンテナハウス」が4棟あります。ここでは、出来る事は自身で行い、難しいことはスタッフがサポートしながら、無理なく自立した生活を目指しています。

健康的な毎を送りながら、仕事への意欲やスキルを少しずつ伸ばしていける環境です。

現在は、13名の男性が6つの棟に分かれて、自身のペースで生活しています。

休日には、桂川町図書館や体育館を利用してリフレッシュしています。また、法人が主催するイベントには、地域の方々がボランティアとして参加して下さり、あたたかい交流が生まれています。



ボランティア団体
桂川手話の会
 問合せ: 桂川町社会福祉協議会
 TEL: 0948-65-2271

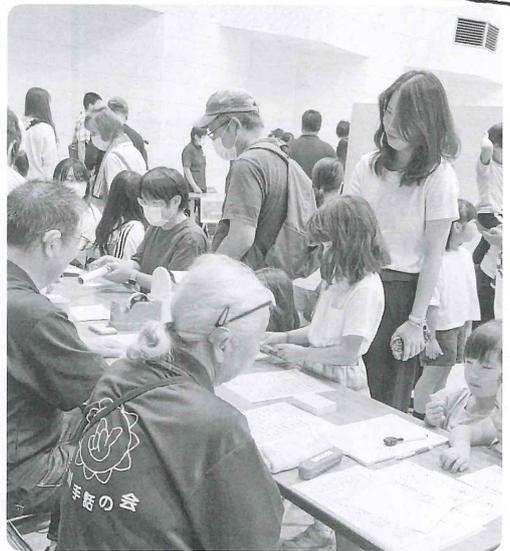
桂川手話の会紹介

昭和62年に発足、2年後には40周年という節目を迎えます。



実働会員は小学生から80歳代まで30名弱です。

定例会は毎週木曜日に行っており、昼の部は14時から人権センターで、夜の部は19時からひまわりの里で開いています。興味のある方、いつでも、覗きにきてください。



その他、スポーツ交流会、野外研修（バス旅行）、福祉のつどいへの参加、また、学童や、幼稚園、小学校、中学校への手話指導、地域のふれあい手話講習会...など聴覚に障がいを持つ方たちとともに楽しく活動しています。

尚、手話奉仕員養成講座や短期講座なども毎年開催しています。日程についてはお問い合わせください。

会長 新宮 鈴香

お知らせ

2026年(令和8年)カレンダー募集

来年(2026年)のカレンダーを集めています。集めたものは、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯などへ民生児童委員さんにご協力いただき配布しています。

企業や商店などからもらったカレンダーのうち、ご家庭でお使いにならないものがありましたら社協へお持ちください。高齢者世帯への配布が中心になりますので、数字が大きく印刷されているものがあれば、大歓迎です。またカレンダーが必要な方も社協へご相談ください。



「献血」は命をつなぐボランティア

交通事故や病気による手術など血液を必要とする患者さんがたくさんいます。しかし、血液は人工的に作るのが出来ない上、長期保存もできません。皆さんの協力によって、多くの命を救うことができます。命をつなぐボランティア「献血」にご協力をお願いします。

日 程 1月29日

時 間 10時～15時30分

(休憩12時30分～13時30分)

場 所 総合福祉センター「ひまわりの里」

年 齢 男性17歳～69歳、女性18歳～69歳

体 重 男女共50kg以上

※初めての方は、本人確認できる証明書(運転免許証・健康保険証・学生証など)をご持参ください。

※血圧の薬を複数服用されている方も献血可能ですが、合併症がなく、血圧が安定している方に限ります。また医師の判断によりご遠慮いただく場合があります。

終活相談会

終活に関すること全般の相談ができます。遺言、相続、遺産、遺品、葬儀、散骨、お墓、死後事務委任など幅広くご相談いただけます。

日 時 12月25日、2月26日 10時～12時(40分/人)

場 所 いきいきセンター桂寿苑

相談員 終活パートナー九州 代表 眞武 純哉 氏

費 用 無料(要予約)



令和7年 福岡県社会福祉大会が行われました

本大会は、市町村社会福祉協議会や社会福祉法人・施設、関係団体等が連携・協働し、誰もが安心して暮らせる元気な地域づくりに向け、研鑽するとともに、多年にわたって社会福祉の推進に貢献した団体や個人が表彰されました。

桂川町からは、当会会長の田中光朗が表彰されました。今回の表彰は平成13年から評議員、平成29年から会長職と永年にわたり業務に精励し、福祉の増進に寄与されたことについての表彰でした。今回の表彰を受け、会長をはじめ社会福祉協議会職員もより一層地域福祉の推進に貢献できるよう、精進いたします。



問合・申込先 桂川町社会福祉協議会(いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555

ありがとうございます
ごぞいました

令和7年8月1日～令和7年10月31日

香典返し(寄付金)

◎土居三

今村 英雄様(故母三千代様)

◎弥栄

武田 和久様(故父)

久様

◎寿命

城丸 秀勝様

◎初盆返し(寄付金)

◎内山田

(故義母) 古野八重子様

松尾 信一様(故妻美喜代様)

◎九郎丸

吉田 眞博様(故母千代子様)

◎一般寄付金

植田小百合様(故父九州男様)

寄付金合計 98,000円

◎土師六

藤田 祥様

(故叔母) 由美子様

公正証書作成に関する相談会

遺言、相続、尊厳死、金銭消費貸借、土地・建物などの賃貸借、協議離婚に伴う財産分与・養育費や慰謝料の支払い、会社設立、任意後見に伴う公正証書の作成について、ご相談いただけます。

日 時 1月14日、3月11日 13時30分～16時(30分/人)

場 所 いきいきセンター桂寿苑

相談員 飯塚公証役場 公証人 吉田 光宏 氏

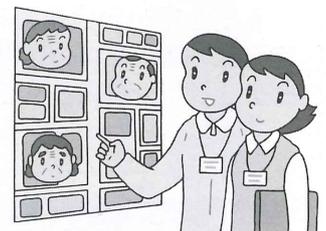
費 用 無料(要予約)

支えあいマップを作りませんか?

社会福祉協議会では福祉部活動での「支えあいマップづくり」を推進しています。支えあいマップとは、拡大した地図に線やマークをつけて、住民同士の繋がりを「見える化」した地図です。

高齢化による認知症高齢者数の増加、毎年のように起こる自然災害など支援を必要とする人を住民同士が知っておく必要性が高まっています。

マップ作りを通して、声かけをしたり、社協へつないだり、人それぞれの支え方が見つかるはず。ぜひ、福祉部活動で取り入れてみてください!



「このおひるに聞きました」



しんくわ すずか
新宮 鈴香さん

◎趣味
友達とおしゃべり、
お金と時間をかけない
アンチエイジング

聞き手
河部 寛



桂川町で生まれ育ちました。東京で就職、結婚。子どもたちを伸び伸びと育てたくて一家で地元に戻ってきました。今は手話の会の会長、手話通訳者派遣コーディネーター、登録手話通訳者、教育委員をしています。

Q1 手話への向き合い方？

今から33年ほど前、友達に初級講座に誘われ受講したのが出会いでした。当時は手話を覚えるよりイベントに参加するほうが楽しくて、将来手話通訳をすることになるとは夢にも思っていませんでした。

Q2 具体的にどのような活動をしていますか？

手話の会定例会、ろう者との交流、幼稚園や小・中学校訪問、手話講習会の開催、地域の講習会の開催。町のイベントへの参加。講演会や個人依頼の病院等の手話通訳や通訳者派遣コーディネーターなどを行っています。

Q3 やりがい喜び
その中で感じたことは？

病院での手話通訳は、とても責任が重く、また、マスクを外しての通訳はさまざまな感染症のリスクを伴う大変な仕事ですが、聴こえない方々の、ホッとした顔を見ると、良かったなあと心から思います。交通事故や突然の怪我など緊急の場合は特にそうです。そして、手話通訳は聴こえない方だけでなく、相手の聴こえる方にとっても必要だということもいつも感じます。

Q4 ぜひ伝えたいことが
あればお願いします。

今、聴こえない方々が中心となつて「手話言語条例」の制定に向けて取り組んでいます。市民の皆さんに聴覚障がいのことを正しく知っていただき、町のあらゆるところで簡単な手話を通じるように手話が広がってほしいと願っています。

出会えた人たちを大切にする。笑顔と感謝を忘れない。

編集
後記

朝の通学路に約18年間立たせていただきました。

その中で、子ども達に元気をもらいながら毎日を過ごしていました。

時には、元気のない子に「大丈夫ね」と声を掛けた日もありました。

次の日、元気に登校している姿を見て安心する日もありました。

子ども達の安全を見守ることの大切さを実感すると同時に地域の方々との繋がりを感ぜられて、とても暖かい時間をもてたことに感謝です。

広報部員 倉掛サツ子



絵：西室 長年さん 第一豆田

障害者関係連絡会で
「お楽しみ会」を行いました

障害者関係連絡会では、6年ぶりに「お楽しみ会」を実施しました。会場には57名の方が集まり、障がいのある人もない人も、そして支援者として働く技能実習生の方々も一緒になって、にぎやかな時間を過ごしました。ゲームや体を動かす活動を通して、世代や国籍のちがいを越えて自然に笑顔が広がり、あちこちで楽しそうな声が聞こえてきました。「初めて会った人と仲良くなれた」「また参加したい」という声も多く、心あたたまるつながりの輪が広がった一日となりました。

年齢や障がいの有無に関係なく、みんなで楽しめる場があることの大切さを改めて感じられるひとときでした。これからも地域のみなさんと一緒に、安心して集える場を大切にしていきたいです。

